

Web 会議システムで 円滑なコミュニケーション

全世界どこからでも利用できるWeb会議システム

10年前、社長が学生時代（大学3年）に開発した技術を基に、学生ベンチャーとしてホームページ作成の受託業務の会社を創業。その間、ビジネスをする上で、米国とのコミュニケーションの不便さを感じたことをきっかけに、4年前に独自のウェブを活用するテレビ電話システムを開発した。これが「nice to meet you」である。本製品は、インターネットに接続できる環境であれば、専用ソフトをインストールすることなく、全世界どこからでも利用できるWeb会議システムで、専用ホームページにアクセスすることにより、通常の会議室を使う感覚でWeb会議が可能となるものである。Windows・Macintoshのどちらでも使用でき、Web会議に必要なホワイトボード機能・チャット機能・ファイル共有機能・録画機能等の機能が完備されている。さらに未契約でも「招待機能」を利用すれば、Web会議に参加可能となる。また、当社が独自開発した「携帯電話コール機能」により、業界で初めてテレビ電話機能搭載の携帯電話とWeb会議システムとの接続を可能とした。



「nice to meet you」画面イメージ

公社との出会い

創業時のメンバーである登山氏とナビゲータが知り合い、平成15年に本事業の申請を行った。間下社長は申請したことを知らなかったばかりか、公社自体を知らず、支援対象となった後、初めて本事業について知った。

当初、この販路開拓支援事業を代理店のひとつが増えた程度の認識で、ビジネスナビゲータとの打ち合わせに間下社長は出席してこなかった。

支援活動の方向性や支援製品の改善について決定権をもっているのは、社長である。

そのため、支援活動を行う際のビジネスナビゲータとの意思疎通には、社長自らが参加する必要性は高いといえる。「支援先の代表者と会って話を進めなければ、その会社の真の姿は見えないし、販路開拓支援事業としても真に成果をあげていると言いがたい。」と考えているビジネスナビゲータは多かった。

誰でも簡単！今すぐ始められるビジュアルコミュニケーションツール

nice to
meet you

<http://www.nice2meet.us>

3D対応とは—
特別なインフラや専用の端末は必要ありません。
インターネットブラウザで利用できるビジュアルコミュニケーションツールです。
充実の会議サポート機能でどこからでも手軽にWeb会議が行えます。

「nice to meet you」のCM画面

企業概要

(株)ブイキューブ

東京都目黒区上目黒 2-9-1 中目黒 GS 第 1 ビル 8F

URL: <http://www.vcube.co.jp/>

代表取締役 間下 直晃

資本金 39,306 万円

業種 映像・音声・文字情報制作業

主要製品 ビジュアルコミュニケーションツール (nice to meet you など) の企画・開発・販売・運用・保守他

ビジネスナビゲータの経験とノウハウを活用

ビジネスナビゲータの活動は、単なる「セールスマン」ではなく、企業が販路を開拓する際に、ノウハウ・助言等を行うことにより、ステップアップするためのネットワークアドバイザーであったり、経営指南役であったり、技術アドバイザーであったり、知的財産に関するアドバイザーであったり、さらには人材教育アドバイザーであったりする。ビジネスナビゲータが社長にこの話をしたところ、認識も新たに定期的な意見交換の場を設定することを決断した。特筆すべきは、社長の物事に対する柔軟性・先見性である。

この意見交換会は、毎月 1 回程度、現在も開催され、いかに他社製品と差別化していくか、どのようなアプローチで明確な違いを打ち出していくかなど、実践的なテーマに取り組んでいる。

その後、ビジネスナビゲータ向けの製品説明会を何度か行い、支援活動を開始。当社は、社長の描くビジネス・コンセプト (PC がもっと親しみやすいコミュニケーションツールとなるためのあらゆるテクノロジー

を提供していく)とテクノロジーに対する造詣の深さ、さらに社員のヤングパワーが際立っている。若い会社であるがゆえのビジネスに関する経験について、ビジネスナビゲータの経験・ノウハウが大いに役立っていると社長は、話してくれた。

支援製品である「nice to meet you」を企業が導入する際の決定権者は、いわゆる「シニア」層の経営者である。そのため、同世代であるビジネスナビゲータを通して、いかに決定権者にアプローチすべきか掴むことができた。

またビジネスナビゲータ自身が支援製品を使いユーザーとしての使用感を直に伝えることにより、より良い製品とする過程での助言に役立った。

業績全体に占める販路開拓支援事業を利用した販売実績は、多大とはいえないが、数字に表れない相乗効果が大きく、社長をはじめ社員の多くに好影響をあたえることができた。

今後も、ニューマーケット開拓支援事業を有効に活用し、IPO (新規株式公開) という目標に向かって突き進んでほしいものである。

ナビゲータの声

若く勢いのある会社である。「パソコンがもっと親しみやすいコミュニケーションツールとなるためのあらゆるテクノロジーを提供する。」という間下社長の描くビジネス・コンセプトと、テクノロジーに対する造詣の深さ、そして社員のヤングパワーが売りである。

シニアである私達ビジネスナビゲータのアドバイスを真摯に受け止めし、同社なりにアレンジし実行する同社の姿勢に敬意を表す。同社が早く、株式上場を実現し、そして社業が益々発展し、IT 業界、ひいては社会に貢献できる企業を目指していただきたい。

企業の声

当社はビジュアルコミュニケーション市場における先駆者として、「世界経済・環境問題・世界平和」に不可欠な公共通信プラットフォーム (インフラ) となることによって、距離の壁や時間の壁を取り払い、人々のビジネスや生活の質を向上していくことを目標としております。また、今後は日本国内だけでなく、急速にブロードバンド化が進んでいる欧米やアジアといった諸外国へのサービス展開も行っていきたいと考えております。